寄付

株式会社 TheSEED 様

JETBOOK 作戦代表 山内様

一般社団法人 親切会中部支部様

株式会社 ファーストリテイリング様

菊間ナスカファーム

菊間 新一様に大根堀り体験をさせて頂きました!



7.8月と記録的な暑さが続き、外に出ることも躊躇 する日々ですが、子どもたちは毎日元気いっぱいに遊ん でおり、夏休みを満喫しています。

コロナ渦でもあり動く事が制限されていますが、施設 としても工夫し、適度に身体を動かせるような環境づく りに励んでいます。熱中症にも気をつけ、今年の夏も元 気に乗り切りたいと思います!

(児童指導員 大髙英也)

	連	絡	事	項	
身	手 長				cm
14	重				kg

交流

読み聞かせボランティア きらめき様 木工ボランティア 菱田夫妻様

いちご狩り 楠山農園様

学習ボランティア 紀藤信哉様

散髪ボランティア 野口伏美様 伊石裕司様







編集・発行

川奈臨海学園

〒414-0044 伊東市川奈 509-7

Tm. 0557-45-0509 FAX 0557-45-5169

E-mail rinkai-g@ninus.ocn.ne.jp

URL http://kawana7.ec-net.jp



書中お見舞い申し上げます



施設長 竹居昭子

暑い毎日が続いております。今年は 6 月から真夏日が数日ありました。今年はラニーニャ現象が続くようです。簡単に言いますと、「気温が高くなる傾向である」という事ですね。コロナウイルスの感染対策をしつつ熱中症対策も行なわなければならず、子どもたちの身体を守り日々の支援につなげています。

川奈臨海学園は、ユニットでの生活が2年目となりました。建物が綺麗で個室もあり、子どもたちがより家庭に近い形での生活となっています。職員と子どもたちとの距離もより近くなりました。小さな集団となりよりよい部分と課題となる部分はありますが、まずは出来る事を一つ一つよく考えて取り組んでいます。私が取り組まなければならないことの1つとして「職員が孤立しないようにする」ということです。職員もチームで報告・連絡・相談をしていこうと伝えており、私自身も職員へ声をかけています。職員の支援方法について指摘することもありますが、職員が頑張っている事は認め褒めるようにしています。

川奈臨海学園を支えて下さる保護者及び皆様、学園に対してご意見などございましたら、どうぞお寄せ下さい。子どもたちの将来に向けて、笑顔で過ごせるよう日々取り組み続けます。



お知らせ

帰省期間

8月19日~8月21日 9月16日~9月19日 10月7日~10月10日 11月18日~11月20日



帰省については児童相談所の許可のもと、各御家庭へ 連絡しておりますので、宜しくお願い致します。尚、予 定されている帰省期間は、新型コロナウィルスの状況に 応じて変更する可能性があります。ご承知のほどお願い 申し上げます。また各ご家庭におきましても、感染対策 の徹底を宜しくお願い致します。

旧川奈臨海学園の現在



長い歴史が刻まれていた以前の学園は現在広い空地へと変わりました。子どもたちと空地に散歩や虫取りに行くと子どもがふと…「ここに玄関があってここが私の部屋だった!」と思い出を楽しそうに話しています。建物は無くなってしまいましたが、思い出や歴史は無くならず、心の中に残り続けていると感じました。

(児童指導員 大高英也)

七夕に願いを

7月7日、七夕ということもありユニット児童と一緒に折り紙を折り、飾り付けを行ないました。子ども達の様子を見守っていると器用に星や和飾りを作る姿があり小さな成長を感じる事が出来ました。作った物をユニット内に飾り付けをすると、七夕ムードに様変わりしました。夕食は、七夕そうめん!卵・カニカマ・オクラ等々たくさんの具材をのせたそうめんを美味しく食べ、おかわりする子も多く楽しく過ごす事が出来ました。

事前に用意した笹に願い事を書いた短冊を括り、天の川を見たいと外を眺めている子ども達の姿を見て癒されていました。天の川は残念ながら曇り空で見ることは出来ませんでしたが、来年は見れるといいねと楽しい雰囲気の中笹の前で写真を撮りました。

子どもたちの願いが叶いますようにと願いつつ、職員 も子ども達の願いを叶えさせる事が出来るように日々過 ごしていければなと強く思いました。

(児童指導員 上村紗矢)







イチゴ狩り

6月11日に今年も、楠山さんからいちご狩りのお誘いを頂きました。前日から楽しみだった子どもたちは、当日早く起きて、準備を済ませ待っていました。学園から熱川まで車で40分。去年参加していなかった児童は、どこにイチゴがあるのかと、車から降りた途端、きょろきょろしていました。農園の楠木さんから注意事項等話していただき、いざビニールハウスへ。ビニールハウスの中が暑く顔にしわを寄せていた子どもたちも、赤い苺を取る度に、汗を流しながら笑顔へと変化させていきま



自分自身で取ったイチゴは、普段食べているイチゴ より美味しいと言って、食べ続けていた児童もいました 白かった籠をたくさんのイチゴで赤くさせた子ども達は 楠山さんに元気にお礼を伝えており、イチゴを沢山持ち 帰る事が出来ました。

(児童指導員 長橋洸太)



プロレス観戦 ご



男子ユニットでは、6月19日に新日本プロレスを観 戦しにキラメッセ沼津まで行ってきました。

コロナウイルスの流行が少し治まった段階をみての外 出でしたが、感染対策を十分に行い最大限楽しい外出に なるように子どもたちと行動をしました。

子どもたちは普段味わえない生の会場の雰囲気を感じつつ、プロレスラーの迫力を実感しながら TV で見るプロレスとは、一味も二味も違う熱気に目を輝かせながら 観戦していました。



コロナ禍であり声援こそ送る事が出来ませんでしたが、 それでも会場に選手からの手拍子コールが響き渡ると子 どもたちも思いっきり手を叩いてコールに答えており、 全力で楽しんでいる姿が見られました。またいつか行け る機会がある時までに声を出しての観戦ができる程度ま で、コロナウイルスが落ち着いてくれることを祈るばか りです。

(保育士 加藤幸大)



スカイウォーク 🍱



わかなでは6月19日に三島市にある三島スカイウォークへ行ってきました。コロナ禍で外出がなかなか出来ない中ではありましたが、感染症対策を徹底し外出を行なう事が出来ました。

日頃の窮屈な生活へのストレスを発散してもらう為に 大きな橋を渡るだけでなく、森の中を様々なアクティビ ティを使って進んでいくアドベンチャーコースを体験す る事にしましたが、職員は進むのが精一杯の中、すいす い進む子ども達の元気な姿が非常に印象的でした。



最後はロングジップスライドに挑戦。往復650メートルを一気に滑り降り、日本一の山である富士山と日本一の橋を見ながらのロングスライドを体験。途中涙する子どももいましたが、終了地点での記念撮影では全員が最高の笑顔で終われました。次の日には筋肉痛を訴える児童もいましたが、私は2日後にきて年の差を痛感した外出の思い出になりました。

(保育士 瀬戸純也)

